

「わが村は美しく—北海道」運動 第4回コンクール受賞団体決定！

北海道開発局では、道内各地で地域の魅力と活力を高めようとする住民の努力と行動に光をあて、全国に伝え、活動を支援し波及させていくことによって、農山漁村のさらなる発展に寄与することを目的に、「わが村は美しく—北海道」運動を推進し、その一環として、隔年でコンクールを開催しています。

コンクールでは、「景観」「地域特産物」「人の交流」の3部門について募集を行い、全道100市町村の169団体から229件の応募がありました。審査は、全道10ブロック毎に置かれた調査委員がブロック内の全応募団体を訪れ直接お話をうかがい、その後、表彰審査委員が現地調査及び審査を行って16の受賞団体を選出しました。また、同一市町村の団体が3つの部門すべてで受賞した場合に当該市町村を表彰する「わが村は美しく賞」は根室市が受賞することとなりました。

表彰式は平成21年1月28日に京王プラザホテル札幌で行われ、鈴木英一北海道開発局長から表彰状が授与されました。

また、表彰式の後の交流会では、200人以上の参加者が“わが村”自慢の味に舌鼓を打ちながら、各地域で活躍されている団体間の情報交換、PR、抽選会などで交流を深めました。



鈴木局長から長谷川根室市長への表彰状の授与

■部門賞

〈景観部門〉

銅賞 酪農家集団AB—MOBIT (根室市)

〈地域特産物部門〉

金賞 江別麦の会 (江別市)

金賞 歯舞地区マリナビジョン協議会 (根室市)

銀賞 中札内村農業協同組合 (中札内村)

銅賞 北竜ひまわりライス生産組合 (北竜町)

銅賞 食のトライアングル (農・商・消) 研究会 (富良野市)

銅賞 オホーツク北見塩やきそば推進協議会 (北見市)

特別賞 JFウトロ漁業協同組合女性部 (斜里町)

特別賞 北海道留萌千望高等学校 (留萌市)

〈人の交流部門〉

金賞 長沼町グリーン・ツーリズム運営協議会 (長沼町)

銀賞 浦河町立荻伏小学校 (浦河町)

銀賞 北海道中標津農業高等学校 (中標津町)

銅賞 当別町農村都市交流研究会 (当別町)

銅賞 NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター (上士幌町)

銅賞 勇知ポテト村雪まつり (稚内市)

特別賞 沼田町ホテル研究会 (沼田町)

■わが村は美しく賞

根室市

酪農家集団AB—MOBIT

(景観部門：第4回コンクール銅賞)

(人の交流部門：第2回コンクール銅賞)

歯舞地区マリナビジョン協議会

(地域特産物部門：第4回コンクール金賞)

事務局：北海道開発局農業水産部農業振興課

受賞団体のご紹介

景観部門 「個性あふれ、誰もが訪れたいくなるような村」

【銅賞】

酪農家集団AB-MOBIT (根室市)



農業を核とした開拓の歴史と自然が残る農村空間・農村景観を最大限に活用し、各牧場の特徴を活かしながら環境や景観に配慮した体験施設、フットパス、拠点作りを行っています。

地域特産物部門 「魅力ある特産物から生まれる新たな地域ブランド」

【金賞】

江別麦の会 (江別市)



春まき小麦ハルユタカの「初冬まき栽培技術」を確立し、その技術が全道に広がっています。小麦の生産から製粉、製麺のすべてを江別市内で完結した地域ブランドに成長させ、小麦に関わる人々との交流のためシンポジウム・イベントを開催し、地域活性化に取り組んでいます。

【金賞】

歯舞地区マリンビジョン協議会 (根室市)



「1漁業部会1ブランド化運動」を推進し、「一本立ち歯舞さんま」、「はほまい昆布しよゆ」等の完成度の高い商品を開発し、はほまいブランドを確立させています。また、千島桜の植樹や漁船による納沙布岬観光などの地域活性化活動も行っています。

【銀賞】

中札内村農業協同組合 (中札内村)



えだ豆で独自の栽培技術管理基準を設定し安心・安全を徹底するとともに畑から調理・加工するまでわずか4時間！液体窒素による瞬間冷凍製品化を実現し、全国へもぎたてと同じ美味しい枝豆を届けています。また、枝豆を利用した加工品開発にも力を入れ雇用の促進にもつながっています。

【銅賞】

北竜ひまわりライス生産組合 (北竜町)



消費者に安全・安心な米を届けるため、水稲生産農家全戸が減農薬栽培に取り組み、生産情報公表農産物JAS規格の認証を取得し、「ひまわりライス」ブランドを確立させました。生産履歴の公表や直接販売により、首都圏や関西まで販路を拡大しています。

【銅賞】

食のトライアングル(農・商・消)研究会 (富良野市)



富良野農業と観光の共生・相乗効果を考える中から、「食」をキーワードに地元産の農畜産物で作るカレーに着目し、農業・商業・消費者を結ぶ活動として「ふらの型カレー文化」の創造、食育・地域交流を展開しています。

【銅賞】

オホーツク北見塩やきそば推進協議会 (北見市)



1市3町が合併した新しい北見市で、北見の海から山までの特産物を使いオリジナル商品として「オホーツク北見塩やきそば」が生まれました。その波及は経済や産業振興、社会貢献など広く地域の活性化につながっています。

【特別賞】

JFウトロ漁業協同組合女性部 (斜里町)



季節営業の婦人部食堂が、漁業関係者の食堂から観光客にも利用される食堂へと発展しました。具材の水産物は、全てウトロ産を使用し地元の味を提供しています。帆立貝や平貝を使った婦人部特製弁当は、ウトロのかあさんが料理した素朴な味として人気が増しています。

【特別賞】

北海道留萌千望高等学校 (留萌市)



留萌の地域資源を活用した商品開発及びビジネスモデルの企画・実践・研究を行い「千望炭素ラーメン」、「もっちり米パスタ」、「にしんそば」などの特産品を開発しました。各地の販売会にも積極的に参加し、地元企業等との協力・連携のもと、地域一体となった取組を展開しています。

人の交流部門 「農山漁村と地域や都市との心やすらぐ人と人の交流」

【金 賞】

長沼町グリーン・ツーリズム運営協議会（長沼町）



地元農家が行政、農協、商工会等町内の関係機関・団体と連携し、都市住民や修学旅行生を対象とした「農家民宿事業」と食育を含めた農作業体験等による「都市との共生・対流事業」を核としたグリーン・ツーリズム事業を町をあげて進めています。

【銀 賞】

浦河町立荻伏小学校（浦河町）



1～3年生の福祉施設訪問、4年生の「アイマスク体験」等の福祉学習、5年生の米作り体験学習、6年生の「荻小劇場」の上演など、「人とのかわり」を大切に全学年をあげて地域住民との交流に取り組んでいます。

【銀 賞】

北海道中標津農業高等学校（中標津町）



多世代型・年間継続型の計根別食育学校の運営や花を通じた地域交流等、「食と環境」を学び・作り・伝える活動を通して地域間連携、異業種交流、地域資源（人材・地元食材）交流をキーワードに町おこし活動を展開しています。

【銅 賞】

当別町農村都市交流研究会（当別町）



里山の自然を生かした田園住宅づくり、どさんこ馬の放牧システムの実証実験、農業者と消費者の交流の場である農業祭り・フィールデイズ in JAPANの開催など環境に負荷をかける農業を広めるための「地域モデル」づくりを進めています。



【銅 賞】

NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター（上士幌町）



大雪山国立公園において、「人と自然のつながり」をテーマに早朝自然観察や旧国鉄士幌線アーチ橋探訪ツアーなどの自然体験、総合学習での環境教育、植樹などの環境保全活動に取り組んでいます。

【銅 賞】

勇知ボテト村雪まつり（稚内市）



行政に頼らず地域住民が中心となった「手づくり」の雪まつりを平成2年から開催し、年々広がりを見せています。1日限りのお祭りですが、準備には約20日間を要し、この間に様々な人の交流が生まれています。

【特別賞】

沼田町ホタル研究会（沼田町）



ホタルの人工飼育・生態に関する調査研究、ホタルの生育ができる自然環境の保全と普及啓発活動、全国へ向けた「ホタルの里」としてのPR活動など、ホタルを核とした環境保全と地域の活性化に取り組んでいます。

「わが村」のPRとコミュニケーションの場となった交流会

